

商学部における特色ある学部教育の補助「見学調査」 報告書

テーマ : モンゴル行使から学ぶモンゴルの歴史・文化・社会情勢

科目名 : GPPB2(グローバルキャリア・モンゴル)

担当教員 : 高岡 正人

調査先 : 在モンゴル国大使館

調査日 : 2025年5月15日(木)

参加学生数 : 1年生 名 2年生 3名 3年生 名 4年生 1名

調査の趣旨（目的）

在モンゴル大使館に足を運び、実際にお話を伺うことで、モンゴルという国についての政策や文化への理解を深めるとともにモンゴルと日本の関係性を学ぶ。また、学内だけでは得られない知見を深めることで、インターンシッププログラムをより充実したものにする。

調査結果

今回の訪問を通じて、我々は日本と異なるモンゴルの特徴を多面的に学ぶことができた。海に囲まれた日本と異なり、モンゴルは中国とロシアという二大国に挟まれた内陸国である。そして、寒さの厳しい自然環境に耐えるために、人々は食習慣を発達させ、たくましい気質を育んできた。また、身につける衣服の色彩感覚にも文化的に大きな違いが感じられた。加えて、モンゴルは近年急速に発展している国であり、民主主義への移行も比較的最近のことである。社会主義体制を知らない若者たちが、どのように歴史を受け継ぐべきかを模索している姿は非常に印象的だった。

一方で、モンゴルと日本は多くの共通点や強い結びつきも持っていることがわかった。日本は過去に空港建設支援やODAを通じてモンゴルの発展に深く関わっており、モンゴル初のEPA締結国でもある。そして両国は核兵器廃絶に向けても強く連携し、「戦略的パートナーシップ」を結んでいる国であった。また、我々はかつて遊牧民族と農耕民族として自然と共に生きてきた背景があり、見た目だけでなく自然を大切にする価値観も共通しているということを学ぶことができた。

